

まえがき

本書は哲学的思考の歴史を、その最も重要な代表者を手がかりにして叙述している。これをもとに読者は哲学の根本的な問題設定や解答の仕方、その方法や概念構制に習熟することになる。各章の最初においた概観では歴史的な背景が描かれており、哲学者たちの思考上の成果はこうした背景をもとにして理解されるべきである。

dtv-Atlasの事典シリーズに共通の構成によって一目瞭然の理解が可能となっているが、そのためにまた一義的な選択や時代区分を行わざるをえなかった。所定の分量ではすべての哲学者を論じること、また細部にまでわたって論じることできなかった。そのかわりに哲学者ないし学派の本質的な思想と概念の簡明的確な叙述に心がけた。

ここでは哲学的な思想を絵や図の形で具象的に解説するという試みが行われており、そのことで哲学の叙述のための新たな領域が大幅に開拓されている。本文が図版のページによって具象的に説明され補完され、あるいはまとめられている。その目標は理解を促進し、自分で問いを立てるように誘発することにある。

我々のスケッチを図版に仕上げてくれたアクセル・ヴァイスの友情あふれる共同作業に対して心からの謝意を表したい。またドイツ文庫出版社 (Deutscher Taschenbuch Verlag) のヴィンフリート・グロートや彼の同僚、とりわけリーゼロッテ・ビュヒナーとガブリエレ・ヴルム (索引) の理解ある協力に対しても、それから助言をしてくださったすべての方々にも感謝の言葉を述べておきたい。

ヴェルツブルク, 1991年5月

著者

第10版へのまえがき

これまでの新版のときと同様に、我々は今回も本書を更新している。第7版で抜本的な改訂と分量増大を行ったあと、ここでは電子メディアも参考文献目録に追加した。インターネットはめまぐるしく変化しているので、そのさい我々は、一方では一定の持続性が期待されるサイトと、他方ではそこに含まれるリンクによってそれ自身が道案内として機能しうるサイトだけを掲載するにとどめた。

ヴェルツブルク，2002年9月

著者